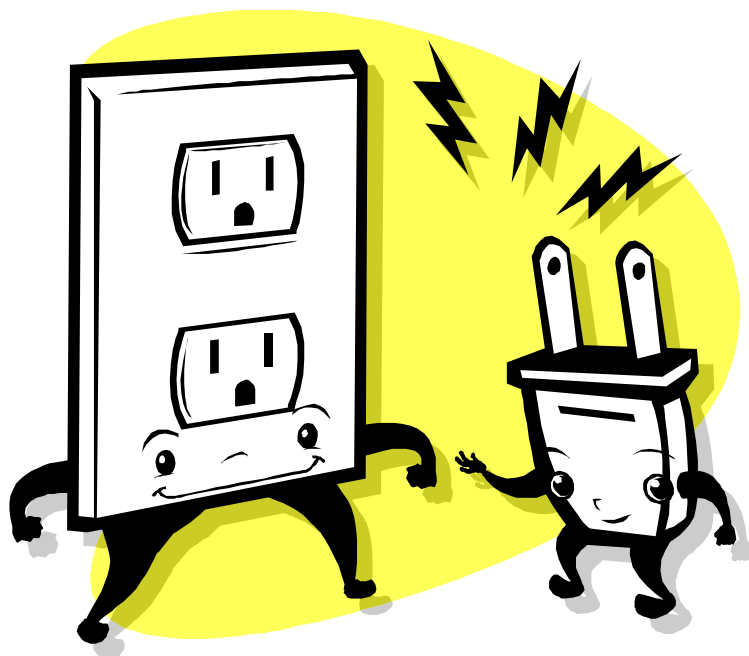


高速電力線通信作業班での検討対象について (三相線上利用)



2018年06月22日

高速電力線通信推進協議会(PLC-J)

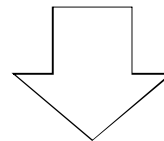
・前回の作業班での議論を踏まえ、検討対象スコープの再整理を行い、改めて検討内容を提案させていただきます。

定格電圧100V又は200V及び定格周波数50Hz又は60Hzの単相交流を通ずる電力線を使用する

一般送配電事業者の電線路と接続される分電盤から負荷側において信号を送受信する

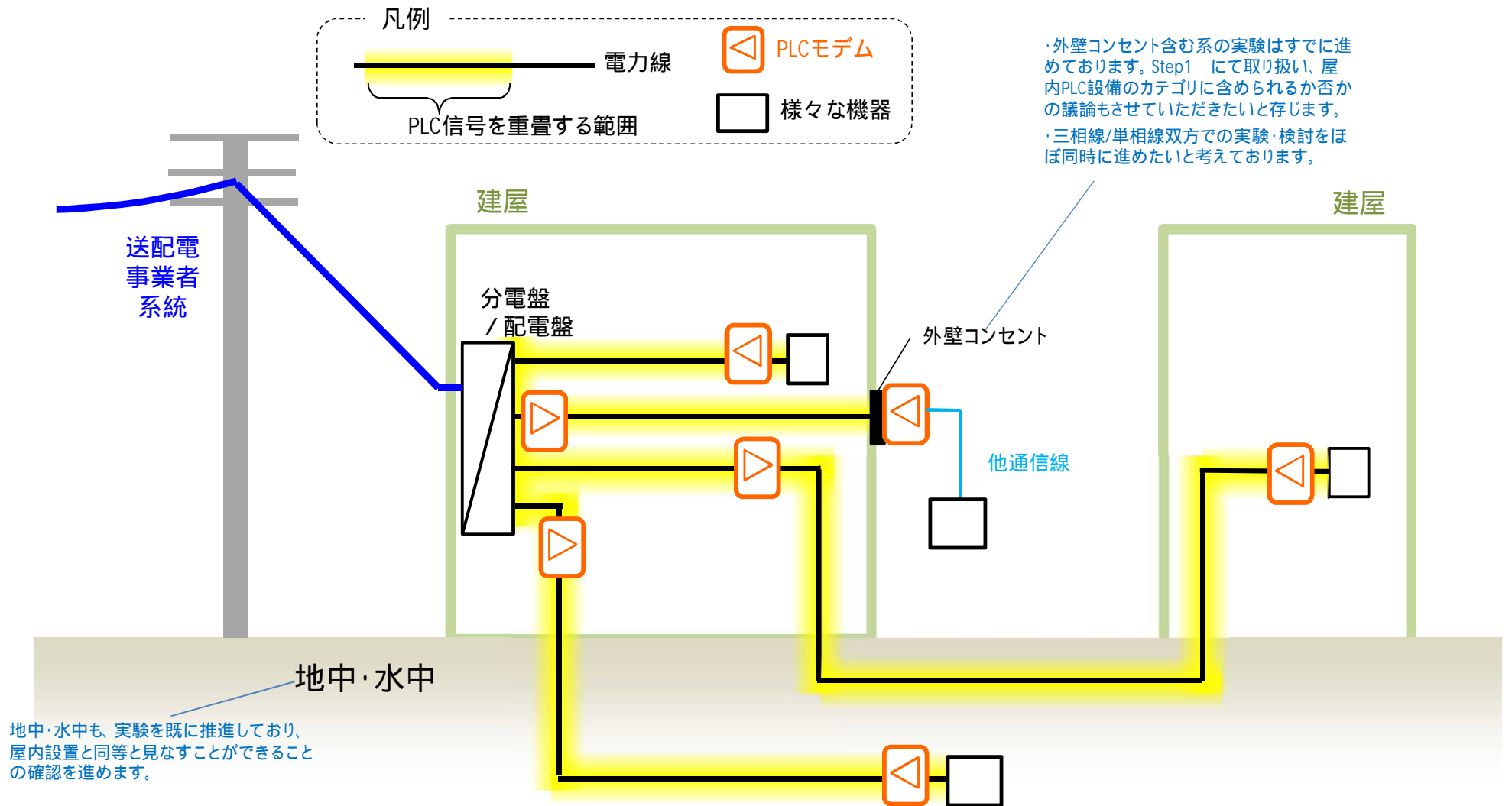
屋内においてのみ使用する

家屋の屋外に面する部分に設置されたコンセントに直接接続される屋外の電力線（又は同様な状態の電力線）を使用し、かつ、屋内の電力線を使用する



現規格に小さな拡張を加えるだけで実現可能な範囲を対象に、作業班の議論をそこに集中するよう、検討対象スコープの再整理を行います。

Step1- 分電盤/配電盤より負荷側 且つ 屋内(地中・水中含) の配線での利用

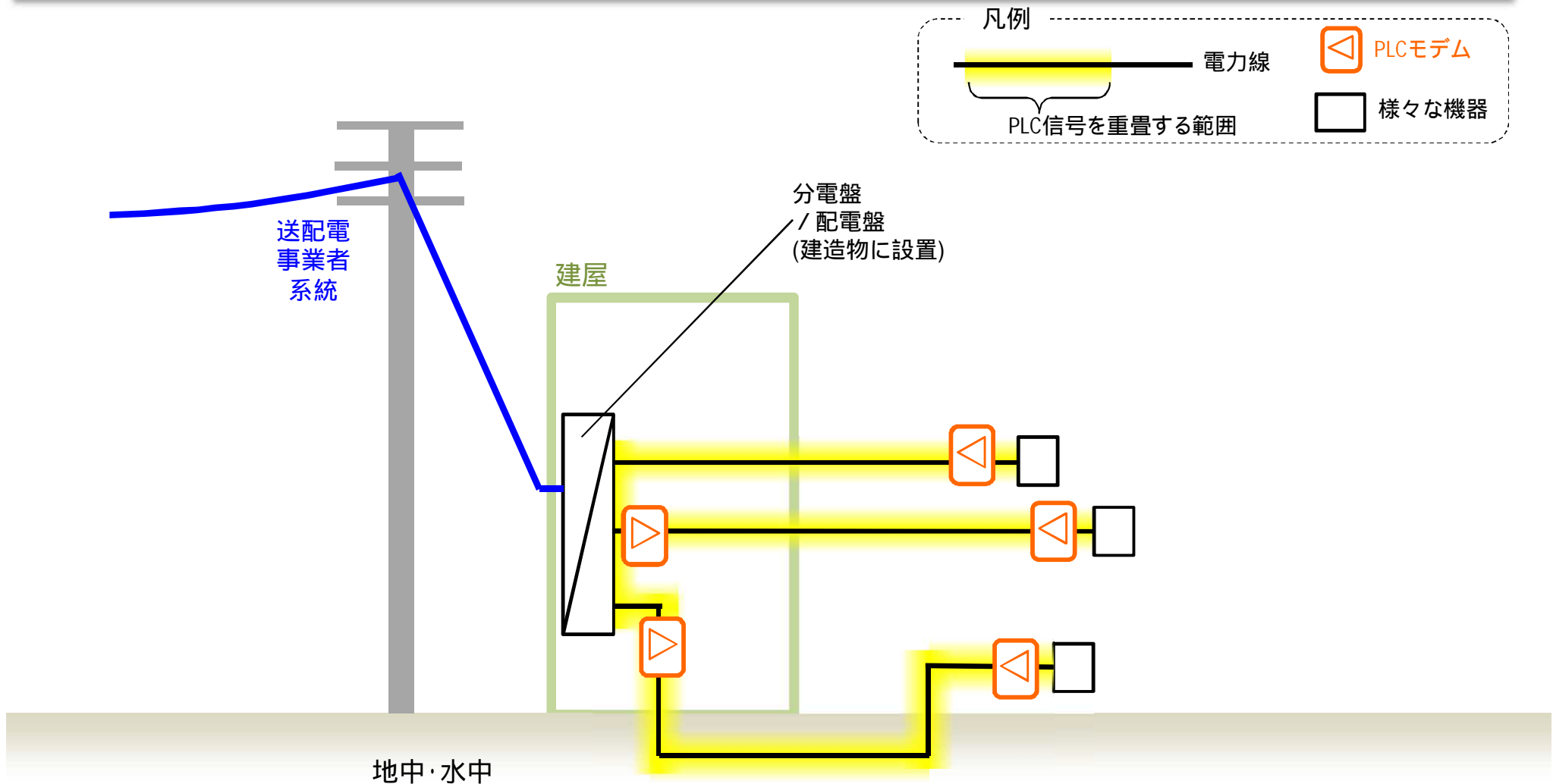


検討したい内容：

電圧100V/200V,周波数50Hz/60Hzの単相交流

(屋内配線に限り)限定無しとする

Step 1- 分電盤/配電盤より負荷側 且つ 屋内～屋外に渡る配線での利用

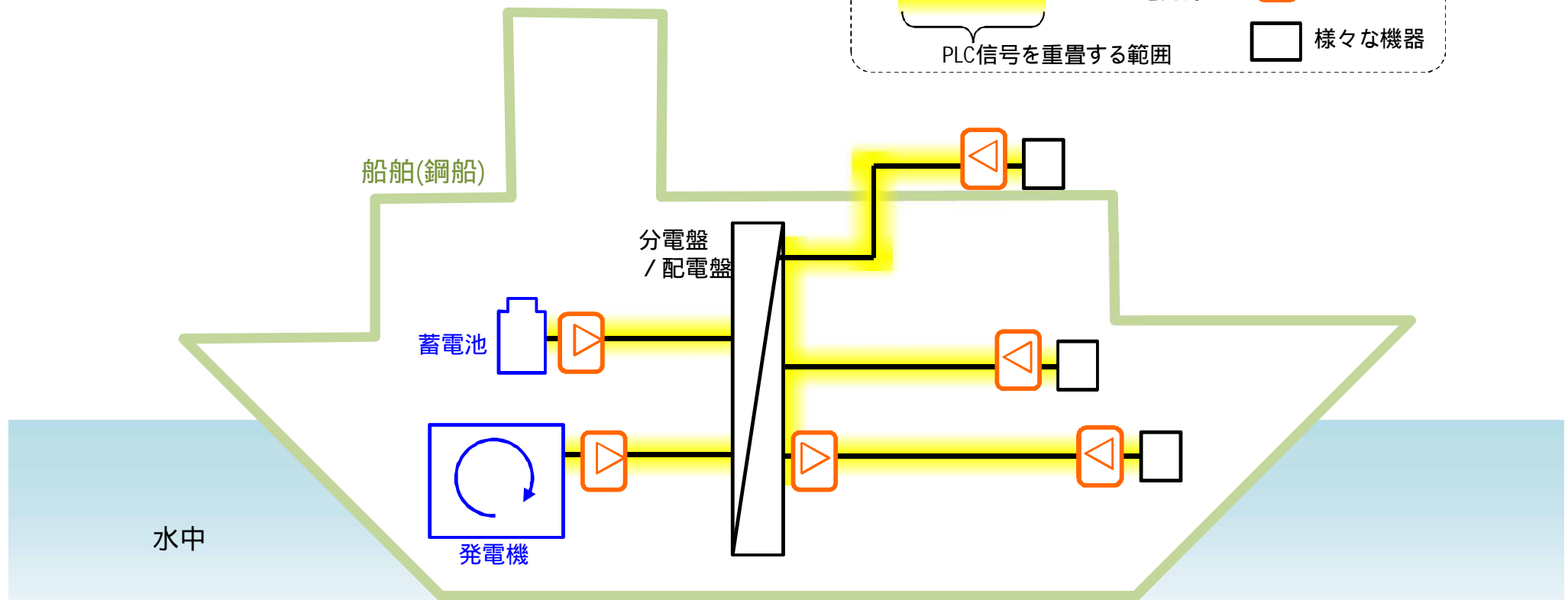
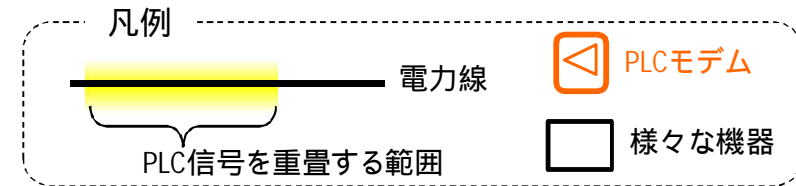


検討したい内容：

電圧100V/200V、周波数50Hz/60Hzの単相交流

限定無しとする

Step 1- 船舶(鋼船)内での利用

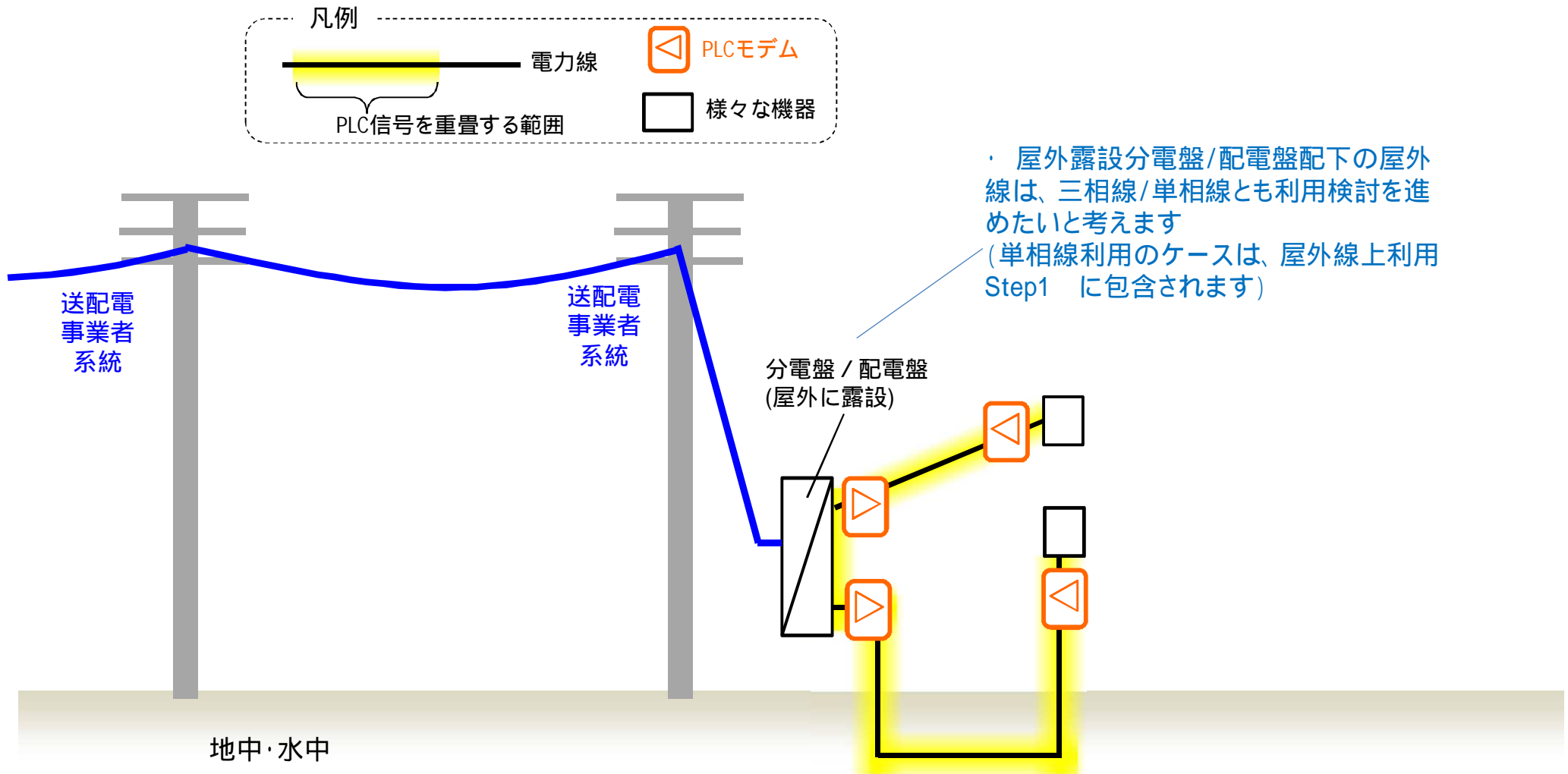


検討したい内容：

定格電圧100V/200V、定格周波数50Hz/60Hzの単相交流
一般送配電事業者の電力線に接続される分電盤より負荷側
屋内においてのみ使用
鋼船でも利用可とする

限定無しとする
限定無しとする

Step2 分電盤/配電盤より負荷側 且つ 屋外露設の設備での利用



検討したい内容：
家屋に付随する分電盤と配線

屋外露設の分電盤・配線も可とする

接続される一次側電力系統について

(現状利用可能範囲は、一般送配電事業者系統配下の配線)

特定送配電事業者系統配下の配線 自営発電網配下の配線 でも利用可能とする。